

<講演会のお知らせ>

港区立郷土歴史館主催の特別展『日墮修好 150 周年記念「日本・オーストリア国交のはじまり ―写真家が見た明治初期日本の姿―』(2019 年 10 月 19 日(土)～12 月 15 日(日))関連事業として、下記講演会を共催します。

①10 月 16 日(水)18:30～20:00

「日墮修好 150 周年記念講演:1869 年オーストリア＝ハンガリー帝国東アジア遠征隊について」

オーストリア＝ハンガリー帝国では、1850 年代から東アジア遠征隊を派遣する計画がありました。1857 年のノヴァラ号の世界周航においても、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトがオーストリア＝ハンガリー帝国海軍総司令官のフェルディナント・マクシミリアン公爵に助言を与えたばかりか、長崎奉行に手交するための書簡をもたせています。しかしながら、様々な要因が重なり、1868・69 年まで遠征隊を派遣する状況は成立しませんでした。講演では、ペーター・パンツァーが一等書記官カール・フォン・シェルツァーの記録を中心に、オーストリア＝ハンガリー帝国東アジア遠征隊が派遣されるまでの過程、歴史的・政治的背景について概観し、宮田奈奈が遠征隊に参加した三等書記官オイゲン・フォン・ランゾネの記録から皇城図及びピアノの御前演奏について紹介します。

・ペーター・パンツァー(ドイツ・ボン大学名誉教授):「オーストリア＝ハンガリー帝国東アジア遠征隊の歴史的・政治的背景について、一等書記官カール・フォン・シェルツァーの日記」

・宮田奈奈(オーストリア・シュタイレック城美術館・文書館主任研究員):「三等書記官オイゲン・フォン・ランゾネの手記より(皇城図及びピアノの御前演奏について)」

(言語:ドイツ語・日本語)

場所:ドイツ東洋文化研究協会(OAG)(最寄駅:青山一丁目)

時間:18:30～20:00(その後、オーストリア大使館・OAGによるレセプション)

主催:ドイツ東洋文化研究協会(OAG)

共催:東京大学史料編纂所

協力:オーストリア大使館、港区立郷土歴史館

リンク:<https://oag.jp/events/oesterreichs-erster-handelsdelegierter-in-japan-das-japan-tagebuch-von-karl-ritter-von-scherzer-1869/>

②10月23日(水)18:30～20:00

「日墾修好 150 周年記念講演:ミハエル・モーザー(1853-1912)について」

オーストリア＝ハンガリー帝国東アジア遠征隊には公式写真家ヴィルヘルム・ブルガーの助手としてミハエル・モーザーが参加していました。

16歳で来日したミハエルは一人日本にとどまることを決意し、写真家として身を立てることを決意します。日本では写真家としての活動の他に1873年のウィーン万博、1876年のフィラデルフィア万博に通訳として同行しました。講演では、ミハエルの孫にあたるアルフレッド・モーザーがミハエルの残した写真や日記、手紙を振り返りながら、彼の数奇な人生を紹介します。

アルフレッド・モーザー(ウィーン在住、ミハエル・モーザーの孫):ミハエル・モーザー(1853-1912)について
(言語:ドイツ語)

場所:ドイツ東洋文化研究協会(OAG)(最寄駅:青山一丁目)

時間:18:30～20:00(その後、オーストリア大使館・OAGによるレセプション)

主催:ドイツ東洋文化研究協会(OAG)

共催:東京大学史料編纂所

協力:オーストリア大使館、港区立郷土歴史館

リンク:<https://oag.jp/events/ueber-den-fotografen-michael-moser-1853-1912/>